

「すまい職人きらりアップ体験出前授業」でむつ市立第三田名部小学校へ

青森県住宅リフォーム推進協議会と青森県では、子どもたちに住宅（すまい）ができるまでの工程や住まいづくりに携わる数多くの職人の仕事内容を紹介し、職人という仕事に理解を深め、すまい職人を目指すきっかけづくりを行うために出前授業を実施しています。令和3年7月14日（水）に大工職種の仕事について木造建築科の担当職員と訓練生が講師となり、むつ市立第三田名部小学校の6年生のみなさんに大工の仕事を紹介して仕事の一部を体験していただく出前授業を行いました。



はじめに、家づくりに携わる職人のことや建物ができるまでの工程について、映像資料をとおして説明したのち、今ではあまり見るのできなくなった2本の柱を1本に組み合わせて継ぐ「継手」の加工について、担当の職員が「追掛大栓継ぎ」を実演しました。現在はプレカットというコンピュータ制御の機械で木材を切り込むため、住宅の建築現場で大工が墨付け、切込みという作業を見る機会が少なくなりました。

すまい職人きらりアップ体験出前授業の概要

- ◇実施日:令和3年7月13日(火)
- ◇実施校:むつ市立第三田名部小学校 6学年 46名
- ◇講師:青森県立むつ高等技術専門学校(木造建築科)
主幹 春日貴順、主査 西野修司、講師 佐藤千亜希
- ◇プログラム

〈1時間目〉	①住まいができる工程と住まい職人の紹介
	②職人の仕事と魅力についての講話
〈2時間目〉	③大工道具と使い方、木材の説明
	④講師による木材加工組立ての実演
	⑤児童による木材加工・組立ての体験演習
	⑥まとめ



その後、6年生のみなさんには、各組に分かれて、かんな掛け、電動工具を使ってベンチ作りを体験してもらいました。各作業を体験した児童から「かんなを実際に使ってみると、簡単そうでしたが力加減がとても難しかったです」「ベンチづくりで使ったインパクトドライバの操作の仕方が分かりました」などの感想がありました。今回の出前授業で各組が製作したベンチは、製作作業に携わった児童のみなさんに校内で使用してもらうために、当校の木造建築科の訓練生から児童代表の方へ手渡されました。



今回の出前授業では多くの児童のみなさんに大工という職業について説明することができました。中でも体験演習で実施した「かんな削り」はたいへん好評で、かんな掛けの指導を担当した訓練生からノウハウやコツを聞きながら熱心に取り組む姿が見られました。今回の出前授業を受けた児童のみなさんがこれを機に「ものづくり」への興味・関心を深め、技能・技術の大切さに気付いてくれることを期待したいと思います。